

## 解答

問一 (1) 付（和雷同） (和魂洋) 才 (和洋) 折（衷）

(2) 「倭」＝ 身を低くして相手に従う

「和」＝ 敵対するもの同士が和議を結ぶ

(3) 「倭」のように他の民族や周辺の国々を蔑む侮辱的な意味を持たず、「和」はたった一字で、生活や文化の根底にある対立するものや相容れないものを和解させ、調和させる力があることを暗示しているから。

問二 和服や和室などのように江戸時代以前の日本の文化とその産物をさし、進んだ西洋に対して遅れた日本という卑下の意味を含み、近代以降は偶像とあがめられた和の化石や残骸にもたとえられるもの。

問三 花は一枚ごとに枝ぶりや葉のつき方、色合いがみな違うだけでなく、片時もとどまらず刻々と変幻するものなので、花のその時の姿を生かすために、花の今の姿を一瞬にして見極め、臨機応変に鋏を入れ生けていくということ。

問四 西洋の音楽は、音のない時間を許さず様々な音によって埋め尽くされ、間のないものだが、日本古来の音曲は、長い音の絶え間がいたるところにあって長閑なものである。

問五 日本人が生活していくうえで、異質な者同士の対立を和らげ調和させ、共存させる和の実現は必要不可欠なものである。その和の実現のために、日本人の生活のあらゆる分野に見られる間、とりわけ人やもとのあいだにとる心理的な間が、重要な働きをしているということ。

問六 ゆだ（ねる） 標識 高層 密閉 たてぐ 重厚